

- 問1 日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
 2. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。
 3. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。
 4. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。
- 問2 日本で最も長い約4445kmの海岸線を持ち、砂の堆積によってできた砂州や砂嘴、陸繋島などの多様な地形が見られる都道府県における工業の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯の中核として、輸入された原油を精製する石油化学コンビナートや、大規模な製鉄所が海岸沿いに密集している。
 2. 瀬戸内海に面した立地を活かして、古くから造船業が盛んであり、現在は自動車の組み立て工場も多く進出している。
 3. かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向け特殊鋼などを生産している。
 4. 日本最大の自動車工業の拠点であり、製造品出荷額のうち輸送用機械が占める割合が極めて高く、関連工場が集中している。
- 問3 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。
 2. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な水路が建設された。
 3. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。
 4. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。
- 問4 北海道の地形や都市の配置について説明した次の文章のうち、地理的状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 道南の志苔館跡や洞爺湖がある地域は、主にオホーツク海の影響を強く受けている。
 2. 道北の稚内市から海岸線沿いに南東方向へ進むと、オホーツク海に面した網走市に到達する。
 3. 日本海に面した網走市では、冬にカリブ海から流れてくる流水を観察することができる。
 4. 内陸盆地に位置する旭川市から西へ進むと、オホーツク海に面した小樽市の港が見える。
- 問5 日本最大の面積を持つ地域における産業構造の特徴について、統計資料から読み取れる傾向として適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 日本最大の面積を持つが、寒冷な気候のため水稲栽培は行われず、サービス業などの第3次産業が就業者の大半を占める。
 2. 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。
 3. 大規模な土地利用による農業は衰退しており、現在は製造業と観光業のみが地域の主要な産業となっている。
 4. 製造品出荷額等が約25兆円と極めて高く、第2次産業の就業者割合が第3次産業を大きく上回っている。
- 問6 北海道を訪れる外国人観光客の動向について、国・地域別の割合では台湾・韓国・中国が全体の60%以上を占めています。これらの国々が含まれる地域名称と、来道者の約90%が利用している交通手段の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 北米 / 船舶
 2. 東アジア / 鉄道（新幹線）
 3. 東アジア / 航空機
 4. 東南アジア / 航空機
- 問7 北海道東部の根釧台地に位置し、夏に濃霧が発生しやすい冷涼な気候を生かして大規模な酪農が行われており、農業産出額の大部分を乳用牛が占めている自治体はどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 北見市
 2. 夕張市
 3. 別海町
 4. 新篠津村
- 問8 北海道地方の気候の特色について、6月から7月にかけての状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 北東から吹く冷たい風（ヤマセ）の影響で、この時期だけ急激に降水量が増加する。
 2. 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。
 3. 南東から吹き込む湿った季節風の影響により、本州よりも早く本格的な雨期が訪れる。
 4. 停滞前線が長期間にわたって停滞するため、年間で最も降水量が多い時期となる。
- 問9 北海道北部の利尻島・礼文島において、地域の産業を持続させるために行われている取り組みの背景と内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 観光客の減少を食い止めるため、閉山した金山の坑道を再活用したテーマパークの建設が進んでいる。
 2. 昆布の需要減少に対応するため、漁場をすべてレタスなどの大規模な野菜工場に転換する計画が進んでいる。
 3. 土壌の性質を改善することで、生産額が減少したサトウキビに代わる新たな特産品の開発が進んでいる。
 4. 高齢化による労働力不足を補うため、昆布養殖や漁業の技術を伝える後継者の育成・支援が行われている。
- 問10 本州の最北端に位置し、北海道の松前半島付近から津軽海峡の海底を通る青函トンネルによって、北海道と陸路で結ばれている県はどこですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 岩手県
 2. 秋田県
 3. 山形県
 4. 青森県
- 問11 北海道の農業経営に関する統計を分析すると、経営耕地面積が30ha以上の大規模な農家が6割以上を占める一方で、都府県では1.0ha未満の農家が半数以上を占めるという対照的な構造が見られます。また、北海道では農業を主な仕事とする「主業農家」の割合が約74%に達しています。このように北海道で主業農家の割合が極めて高い理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 1戸あたりの経営規模が大きく、大型機械を用いた効率的な生産によって、農業のみで十分な所得を得ることが可能だから
 2. 広大な土地を利用して、小規模な水田では不可能な低コストの米作りを行い、全国の米需要のほとんどを賄っているから
 3. 消費地である大都市から遠く離れているため、輸送費を節約するために加工品を専門に作る農家が急増したから
 4. 都府県に比べて冬の農閑期が長いため、冬の間だけ工業地帯へ出稼ぎに行く農家が全農家の約8割を占めているから
- 問12 北海道の石狩平野において、かつて広範囲にわたって見られた、水分を多く含む植物の遺体が分解されずに積み重なってできた土地を何といいますか。この土地はもともと農業には適さない湿地帯でしたが、客土などの土地改良により現在は大規模な稲作地帯となっています。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 干拓地
 2. 泥炭地
 3. シラス台地
 4. カルスト地形